

東京湾再生官民連携フォーラム 平成 29 年度 第4回企画運営委員会

1. 開催日時 平成 30 年 3 月 27 日(火)10:00～12:00
2. 開催場所 スタндарт会議室 虎ノ門 SQUARE 店
東京都港区虎ノ門 1-15-10 名和ビル 4 階

3. 議事次第

《審議事項》

- (1)フォーラム平成 30 年度事業計画(案)、予算(案)について
- (2)CSR-NPO未来交流会(マッチング)について
- (3)企業・行政等施設見学会について
- (4)平成 30 年度フォーラム総会開催について

《報告事項》

- (1)フォーラム平成 29 年度事業報告(案)について (事務局)
- (2)平成 29 年度PT活動報告、平成 30 年度PT活動計画 (各PT長)
- (3)東京湾での海水浴復活方策の検討 PT 政策提案再検討状況
- (4)東京湾再生アンバサダーの継続について
- (5)その他

4. 出席者 (敬称略)

來生委員長、佐々木委員、中村委員、古川委員、井上委員、岡田委員、木賊委員、星委員、牧野委員、工藤委員、吉野代理、竹口委員、関口委員、芝原委員、三浦委員、岡本委員、中崎委員、山本委員、富樫代理、佐藤代理、市原代理、稲津代理、樋口代理、岩田代理、佐久間代理、笠原委員、細川(事務局)27名出席

5. 議事メモ

5-1 開会

(1)事務局確認事項

出欠確認 (初めてのご出席 木賊委員)

資料の確認

(2)開会挨拶(委員長)

今年度最後の企画運営委員会となります。審議よろしくお願ひします。

5-2 議事

《審議事項》

(1)フォーラム平成 30 年度事業計画(案)、予算(案)について

【決定事項】

平成 30 年度事業計画(案)、予算(案)は提案のとおり承認された。

(事務局説明)

資料1説明

- ・3年を一括りすると平成30年度は第2タームの3年目(フォーラム6年目)となる。第1タームの平成25年度～平成27年度は手探り、立ち上げの時期、第2タームの平成28年度～平成30年度は改善し、更に加速して行く3年間になる。フォーラムのあり方、法人化の検討を進めながら、フォーラムの役割である政策提案を積み重ねて行く。
- ・平成29年3月に「東京湾再生のための行動計画(第二期)」第1回中間評価が国側から発表された。この中にはフォーラムからの政策提案が反映され、少しずつ実績が積み重なってきている。
- ・今年度の事業計画は、広報普及としてHPでの情報発信量を増やし、会員増を図る。
- ・交流連携の柱として、CSR-NPO未来交流会を企画する。やり方も企業団体、NPOがより親交を深めることができるように図っていききたい。平成29年度のマッチングの実績として、NPOと大手電機メーカーとの交流の仲介支援中である。
- ・さらに、東京湾の窓のスタンプラリーなどを支援予定している。各PT活動の支援、政策提案の検討や東京湾大感謝祭への支援等、現在の活動を集中してさらに周辺への人の繋がりが広がる活動を実施する。
- ・法人化の検討は、総会までに報告ができるように取り組む。また新しい試みとして、フォーラム活動のスポンサーを図り、独自の資金の調達を試みる。
- ・これらの活動を実現して行く予算案は、事務局経費は実績ベースで、事業経費は収入に見合った支出の計画を立てた。

【審議経過】

特に質問なし

(2) CSR-NPO未来交流会(マッチング)について

【決定事項】

平成30年度CSR-NPO未来交流会(案)は提案のとおり承認された。

(事務局説明)

資料2説明。

- ・今までは、なるべく多くの人の交流を図ることを念頭に実施してきたが、さらに個々の組織・団体の交流を深める工夫を図る。また、企業の方の参加をさらに促していく。今年度は7月に開催予定。

【審議経過】

特に質問なし

(3) 企業・行政等施設見学会について

【決定事項】

企業・行政等施設見学会については提案のとおり承認された。

(事務局説明)

資料3説明。

- ・平成30年度は秋に予定する。見学対象候補予定を絞り込み、実施しやすさなどを考慮しながら、候補施設との調整を図り会員対象に実施する。

【審議経過】

特に質問なし

(4)平成 30 年度フォーラム総会開催について

【決定事項】

東京湾再生官民連携フォーラム平成 30 年度総会開催について(案)は提案のとおり承認された。
(事務局説明)

資料4説明

- ・東京湾大感謝祭の日程調整と合わせて、総会日程を設定する。
- ・会場は前回の大栈橋と比べ若干移動距離が短い、「横浜第 2 合同庁舎 共用第一会議室」(最寄駅:みなとみらい線馬車道駅)。関東地方整備局のご協力を得て借りることができる予定。

【審議経過】

特に質問なし

《報告事項》

(1)フォーラム平成 29 年度事業報告(案)について(事務局)

【報告】(事務局)

資料 5 説明

- ・平成 29 年度の報告書の素案となる。6 ページまで主な活動を簡単に説明する。これが昨年度の活動概略となる。6 ページ以降、特徴的な詳細を記載している。
- ・企画運営委員会の開催について、会員状況、CSR-NPO 未来交流会など。施設見学会では、新日鐵住金 富津の研究所見学会など。以降 PT 活動を掲載。

【お願い】事務局

- ・東京湾の再生活動が国内各地域で注目され始めている。この 3 月末には瀬戸内海関連で東京湾の活動を來生議長が宇部高専で講演。できれば、この報告書に追記として、企画運営委員会のメンバーなどの講演等の諸活動をまとめて掲載したいと考えている。みなさまの最近の実績活動があれば情報の提供をお願いしたい。

【來生委員長】

- ・熊本の八代海でも東京湾をモデルに同じような組織づくりが始まっている。

【古川委員】

- ・事務局のお願いと期せずして同じとなるが、フォーラムの東京湾関係者の中の活動も大切だが、それ以外、他の地域での活動やどのような影響を与えているかを、きちんと報告書に記載することを提案する。一例が香川県の里海づくりなどもあり、そのような活動も私たちの成果として取り上げ共有できたら良いと思う。

【來生委員長】

東京湾の再生活動は、規模から参加者の多様性でも全国を先導する活動。全国に影響を与えていることは喜ばしいことで、協力をお願いする。

(2)平成 29 年度PT活動報告、平成 30 年度PT活動計画 (各PT長)

①東京湾大感謝祭PT

【報告】(代理 吉野)

資料 6-1 説明

—平成 29 年度活動報告—

東京湾大感謝祭 2017 の開催結果

- ・10 月 22 日(日) 台風による中止、入場者数 2 万 5 千人。赤レンガ広場で出展社数:総数 149 団体の参加になった。資料 6-1-1.P5-p6 ズーン別の説明。ステージは 10 プログラムを催行。海上イベントなど体験乗船会の実施、同時開催の東京湾シンポジウム 282 名の参加など。来場者アンケート結果を掲載している。
- ・決算について、台風による撤去費用が発生したため、赤字となった。

—平成 30 年度活動計画—

東京湾大感謝祭 2018 の計画

- ・2018 年の会期日時、場所等を確定している。来場者約 10 万人、出展者 150 団体を目標にしている。出展案内のご協力をお願いします。
- ・現在の進捗状況、エントリーの企画状況は、屋内会場については、大棧橋ホールを使い自治体さんに案内予定。
- ・2018 年は枠を決め PT の PR 場、フォーラム会員へのご案内を実施する。
- ・木村 PT 長より東京湾に感謝する日の制定を提案する。企画運営委員会で議論して頂きたい。

【事務局説明 感謝祭 PT】

資料 5 参照。PT の活動状況の紹介の視点からは、感謝祭の実行委員会の開催は高い頻度で非常に活発な活動している。感謝。

②東京湾環境モニタリング推進 PT

【報告】(古川 PT 長)

資料 6-2 説明

—平成 29 年度活動報告—

東京湾環境マップの説明

- ・モニタリング PT は、東京湾再生推進会議の一斉調査に参加し、その成果をまとめる活動を継続している。今回、東京湾の窓 PT に協力いただきマップを充実させている。マップは生きものに焦点をあて、この部分が東京湾窓 PT と協働で準備してきた箇所となる。
- ・貧酸素水塊を示す溶存酸素量のデータは、今までは濃度に合わせたスケールを書いていたが、危険度を表す方を『赤』として、昨年と反転させている。夏場に貧酸素水塊が広がっていることを示している。
- ・マップデータは国総研のサイトでダウンロードできる。マップの印刷物のご要望があればご連絡ください。

—平成 30 年度活動計画—

- ・来年度もこの活動を継続していく。

③生きもの生息場づくりPT

【報 告】(佐々木 PT 長)

資料 6-3 説明

—平成 29 年度活動報告—

- ・平成 29 年 10 月 10 日に PT 会議を開催。

「マコガレイ産卵場の底質改善」政策提案について、現状ではまだ進んでいない。底質に関する事前のモニタリングが必要と考えている。

- ・12 月 26 日千葉港茜浜沖でモニタリング調査(マコガレイの卵分布調査)を実施した。船3隻で PT メンバーを含め 19 名の参加により千葉県水研センター産卵ネットを使い卵の採取を行った。この調査の結果として卵が確認できた。

—平成 30 年度活動計画—

- ・今後も「マコガレイ産卵場の底質改善」が具体化されることを期待し、事前調査を予定している。
- ・3 月 9 日にはワーキンググループ(WG)会議をみなと総研会議室で開催。PT からの成果等の公表のあり方について協議し、ガイドラインとしてとりまとめることとした。理念の具体化、理念を共有することが重要と考え、ガイドラインが必要で検討している。

④指標活用PT

【報 告】(岡田 PT 長)

資料 6-4 説明

—平成 29 年度活動報告—

- ・WG を二つの作り活動している。一つは市民データ WG、もう一つはデータ整理・評価 WG。
- ・市民データ WG は、平成 29 年度は 2 回開催。漁協へのヒアリングなどを行いデータを収集している。
- ・フォーラム HP に指標活用 PT の活動箇所にてデータ PDF 版を掲載している。アンケートに協力して頂いた組織を掲載し、自分たちの活動が WEB 検索でもヒットするように工夫している。実際の内容は、資料 6-4 参考資料がそれぞれのポスターとなっている。
- ・平成 30 年度も平成 29 年度と同様にデータ収集整理し、ポスターの形でまとめていく予定。
- ・データ整理・評価 WG の目的は、東京湾再生推進会議の第 1 回中間報告を受けて、指標および評価方法の見直しを推進会議と協働で、平成 31 年度の第 2 回中間評価に向け検討している。
- ・平成 29 年度は、透明度、COD、糞便性汚染、海浜公園等の施設利用者数、生物共生型港湾構造物の延長のデータの収集・整理方法を見直しているところ。

—平成 30 年度活動計画—

- ・平成 30 年度は 4 月から作業を開始予定。

⑤江戸前ブランド育成 PT

【報 告】(牧野 PT 長)

資料 6-5 説明

—平成 29 年度活動報告—

- ・PT の暫定的な活動方針を整理した。まずは「東京湾の海の幸のを知って、食べていただくこと」が大切、食卓と東京湾のつながりを取り戻すことでライフスタイルの変革につなげて行く考え、以下の 3 点について取り組んだ。

- ・江戸前の水産物について知っていただき体験していただくための活動
- ・東京湾大感謝祭 2017 の企画立案・実施
- ・江戸前 PT の活動方針の再検討 平成 29 年度の活動実績
東京湾大感謝祭にはオール水産で取り組んだ。結果アンケートも好評であった。
生物多様性アクション 2017 に入賞。また、東京湾大感謝祭において、PTメンバーでもある「よこすか海の市民会議」は、東京湾海の環境再生賞・みなと総合研究財団理事長賞を受賞した。

—平成 30 年度活動計画—

- ・東京湾大感謝祭 2018 に向けて企画立案作業を開始している。
- ・PT 活動方針についての具体的議論を進める。
- ・食育を通じた東京湾再生についての議論を進めるとともに、他 PT との連携も視野にいれた活動の検討を開始する。

⑥東京湾パブリックアクセス方策検討PT

【報告】(竹口 PT 長)

資料 6-6 説明

—平成 29 年度活動報告—

- ・第二次(最終)政策提案に向けた活動。平成 28 年度の第一次政策提案に際して、継続検討テーマとした「工場敷地等民有地を活用したパブリック方策」と「海を利用したパブリックアクセス」について検討を進めており、具体的な素材情報収集を行っている。

—平成 30 年度活動計画—

- ・第二次(最終)政策提案をめざした活動。関係者との協議素材の取り纏め作業の実施。協議の進捗状況を踏まえ、第二次政策提案の必要性を判断し、最終報告を取りまとめる。

⑦東京湾での海水浴復活の方策検討 PT

【報告】(関口 PT 長)

資料 6-7 説明

—平成 29 年度活動報告—

- ・8 月 25 日第 2 回企画運営委員会に政策提案(案)を提出し、審議結果を踏まえて、現在、政策提案を引き続き事務局と検討している。

—平成 30 年度活動計画—

- ・今年度の総会に政策提案を提出するため、その手続きを進める。

【來生委員長】

政策提案の検討は、まだ事務局とのやり取りが続いている。全体の PT 報告後、報告事項(3)として改めて事務局からの経過報告がある。

⑧東京湾の窓PT

【報告】(芝原 PT 長)

資料 6-8 説明

—平成 29 年度活動報告—

- ・平成 29 年度は、これまでに 4 回会合を行い、PTとして 2 年目の活動になる。「東京湾・公園めぐりスタンプラリー」の実施などについて検討、トビハゼ&干潟の生き物動画の撮影と公開、東京湾大感謝祭出展などを行った。メンバーの特長は施設のメンバーが多いので、それを活かした実践企画を行った。

—平成 30 年度活動計画—

- ・平成 30 年度は、活動の柱が確定し、それぞれの柱に基づき計画予定している。

(3) 東京湾での海水浴復活方策の検討 PT 政策提案再検討状況

【報告】(事務局)

資料 7 説明

- ・資料 7-1 がフォーラム総会以降、現在までの政策提案検討経過である。
- ・検討の結果、現在までの達成状況が、資料 7-2、2017.2.13 案にあたる。時間をかけて PT で案をブラシアップしてきた。本政策提案(案)について企画運営委員会メンバーからも既にご意見が届いている。更に今後、自治体等などの関係者のご意見を伺う予定としている。資料 7-2 の項目 4.以降が具体的な提案になる。現在、案をご紹介できるレベルとなっている。表現や言葉遣いなど再調整していきたい。ご意見ご指摘があればお知らせ願いたい。
- ・今後は、まず本日提示の政策提案(案)について、企画運営委員会メンバーからご意見を頂き、そのご意見をもとにPTで再検討し、フォーラム事務局に修正(案)を提示して頂くことになる。

(4) 東京湾再生アンバサダーの継続について

【報告】(事務局)

資料 8 説明

- ・日本テレビ放送網(株) 榊太一氏と赤城乳業ガリガリクンに引き続きアンバサダーとしてご就任頂くことで手続き中である。お二人の承諾後任命証の手交を行う予定。

(5) その他

参考資料1、2情報提供

5-3 閉会

委員長が閉会を宣言

以上